

行政審議会政策別ヒアリング結果【第1部会】

	取組の基本方針及び展開項目	担当部局	計画見直しの素案	計画見直し素案に対する修正案	個別計画等に対する提言要望	
01 自然・環境	1 人と自然の共生					
	1	地球環境の保全	◎生活環境部	現計画を継続	現計画を継続	・現在市内では植樹できる場所が少ないため、企業や学校等からの情報収集を進め、植樹場所の確保に努めてもらいたい。
	2	水と緑の保全				
	3	安全な地域環境の保全				
	4	再生可能エネルギーの推進				
	5	環境教育・学習の推進				
2 循環型社会の形成						
1	ごみの減量化と適正な処理の推進	◎生活環境部	現計画を継続	現計画を継続	・不適切なごみの排出が多い地域については、今後も地域と連携しながら啓発に取り組むことで、ごみ出しのルールの徹底に努めてもらいたい。 ・ごみの資源化・減量化を一層進めるため、さらに分別資源化できるごみの品目がないか検討してもらいたい。 ・古布や小型家電などの回収拠点について、市民の利便性向上の視点から、拠点数や場所について今後も検討してもらいたい。	
2	ごみ資源化の推進					
02 産業	1 都市型農業の推進					
	1	農業経営の安定化	◎生活環境部 ◎経済部	現計画を継続	現計画を継続	・耕作放棄地の発生防止の視点からも、離農者の農地が他の農業者に円滑に引き継がれるような取組を今後も進めてほしい。 ・近年鳥獣被害対策や小麦の病害対策が大きな課題となってきたため、市としても現在の取組を継続してもらいたい。
	2	農畜産物の高付加価値化				
	3	次代へ引き継ぐ農村環境づくり				
	4	地産地消の推進				
	2 商工業の振興					
	1	食関連産業の振興	◎経済部	現計画を継続	・計画策定時は雇用機会の確保が課題であったが、現在は人材不足へと雇用環境が変わっているため、展開項目(6)就業環境の充実の中で、「就業機会の確保」から「人材の確保」を支援する内容に記載を変更してもらいたい。	・企業誘致に向けて工業用地が不足していることから、工場敷地の確保に努めてもらいたい。 ・商店街の活性化の視点から、商店街での若者の起業についての支援を進めてもらいたい。 ・総合特区については、市内企業への浸透が不十分だと思われるので、食産業の発展のため、企業への意識啓発に取り組んでもらいたい。
	2	産学官連携による新たな技術開発				
	3	企業立地の促進				
	4	中小企業の経営の充実				
	5	商店街の活性化				
	6	就業環境の充実				
3 観光による産業の振興						
1	地域資源の発掘と活用	◎経済部	現計画を継続	現計画を継続	・現在は様々なものが観光資源となりうることから、関係団体や企業等との連携により新たな観光資源の発掘に努めてもらいたい。 ・市民の間で江別の観光地としての魅力が共有されてないことが、観光誘客の弱点だと考えられるので、市民に江別の魅力を伝える取組を進めてもらいたい。 ・江別は日帰り観光が中心であるが、消費拡大に向けて滞留時間が少しでも長くなるような取組を進めてもらいたい。 ・これからの観光振興は、スマートフォンによる情報発信をはじめマーケティングの視点に立った戦略が重要であるため、個別計画のなかで戦略的な施策展開を検討してもらいたい。	
2	観光・イベント情報の発信					
3	江別ブランドの確立					

行政審議会政策別ヒアリング結果【第1部会】

取組の基本方針及び展開項目		担当部局	計画見直しの素案	計画見直し素案に対する修正案	個別計画等に対する提言要望	
04 安全・安心	1 安全な暮らしの確保					
	1	交通安全の推進	◎生活環境部 ◎経済部 ◎建設部	現計画を継続	現計画を継続	
	2	防犯活動の推進				
	3	市民相談の充実				
	4	生活衛生環境の充実	まちの衛生や美観、安全が損なわれることを防止するため、ペットの適正な飼育に関する啓発活動、及び空き地の適正管理についての指導等を行い、市民が住みやすい生活衛生環境の充実に努めていきます。 また、空家等の発生抑制及び危険空家への対応等により、安全で安心な生活環境の確保に努めます。	素案通り見直し	・所有者不明の危険空家の対策が、全国的な課題となっているため、江別市でもそのような空家が発生しないよう、個別計画の中で予防的な措置を検討してもらいたい。 ・所有者不明の空地について、国の法整備を注視しながら、江別市としての対応についても検討してもらいたい。	
	5	冬期生活環境の充実	現計画を継続	現計画を継続		
	2 地域防災力の向上					
	1	耐震化の推進	◎総務部 ◎建設部	現計画を継続	現計画を継続	・公共施設の耐震化は進んでいるが、今後は市内民間施設の耐震化が重要になってくると思われることから、所有者等へ周知啓発を進めながら国の動向についても注視し、市としての対応を検討してもらいたい。 ・大災害などでは、行政だけでは十分な対応が取れないことが考えられることから、地域住民同士や企業などとの共助による災害対応がとれるような取組を進めてもらいたい。 ・積雪寒冷期の大地震や停電等の災害対策についても、十分な対策を取ってもらいたい。
	2	防災意識の向上				
	3	防災体制の強化				
3 消防・救急の充実						
1	消防組織体制の充実	◎消防本部	現計画を継続	現計画を継続	・将来的な課題として、発災時に市民のスマートフォン等に火災等の情報を直接提供できるようなサービスについて、調査研究してもらいたい。	
2	救急体制の充実					素案通り見直し
3	火災予防対策の推進					素案通り見直し
			高齢化社会の進展等に伴い増加する救急需要へ対応するため、 需要の分析と調査を行い救急隊の効率的な運用等の検討 と救急業務の高度化、救急車適正利用の啓発を推進します。また、市民への情報提供に努め情報の共有化を図るとともに、地域医療機関や関係部局等と連携した救急体制の充実強化を図ります。			
			火災予防運動をはじめとする防火思想の普及、放火をされない環境づくりや 住宅用火災警報器 の設置促進及び 適正な維持管理 など、住宅防火対策を推進し、火災による被害の軽減を図ります。 また、地域の防火・防災力の向上のために民間防火組織の育成強化を図ります。			

行政審議会政策別ヒアリング結果【第1部会】

	取組の基本方針及び展開項目	担当部局	計画見直しの素案	計画見直し素案に対する修正案	個別計画等に対する提言要望		
05 都市基盤	1 市街地整備の推進						
	1	江別の顔づくり	◎建設部 ◎企画政策部 ◎水道部	現計画を継続	現計画を継続	<ul style="list-style-type: none"> ・公園の再整備は、地域や幅広い世代の意見を聞きながら進めることが重要だと思われることから、今後も協働による公園整備を継続してもらいたい。 ・顔づくり事業が平成31年度で終了するが、江別版コンパクトなまちづくり実現に向けて、事業終了後も駅を中心としたまちづくりに取り組んでももらいたい。 ・今後、老朽化した上下水道施設の更新に大きな財政負担を伴うことが考えられることから、個別計画の中で計画的な施設更新等について検討してもらいたい。 	
	2	公園整備の推進					
	3	市営住宅整備の推進					
	4	計画的な土地利用の推進		現計画を継続			<ul style="list-style-type: none"> ・駅を中心とした江別版コンパクトなまちづくりを進めていることを明確にするため、「コンパクトなまちづくり」について、まちづくり政策の中でも記載してもらいたい。
	5	バリアフリーの街並みづくり		現計画を継続			
	6	上下水道の整備					
	7	住みかえ支援の推進		住みかえ支援や空家等の利活用などにより住みやすい住環境づくりを進め、高齢者の市内居住維持と子育て世代の定住化をめざします。			素案通り見直し
	2 交通環境の充実						
	1	安全で快適な道路環境づくり	◎建設部 ◎企画政策部	現計画を継続	現計画を継続	<ul style="list-style-type: none"> ・今後老朽化した道路、橋梁の維持管理が財政的に大きな課題となっていくと考えられるため、長寿命化など計画的に取り組んでももらいたい。 	
2	冬期間の交通の確保						
3	公共交通の最適化	駅を中心とする交通網を基本とし、地域の実情に即した持続可能な公共交通の形成を推進します。		素案通り見直し			
09 計画推進	1 自主・自立の市政運営の推進						
	1	基礎自治体機能の充実	◎総務部 ◎企画政策部 ◎生活環境部	現計画を継続	現計画を継続	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の総合計画が自治基本条例に基づいて策定されていることから、自治基本条例の啓発の視点からも、総合計画が自治基本条例に基づいて策定されていることを周知してもらいたい。 	
	2	計画行政の推進					
	3	政策形成能力の向上と効率的な組織体制の構築					
	4	広域連携の推進					
	2 透明性と情報発信力の高い市政の推進						
	1	広聴の充実	◎総務部 ◎企画政策部	現計画を継続	<ul style="list-style-type: none"> ・現未来戦略の中で、新しくシティプロモートの取組が示されたが、まちづくり政策の中ではシティプロモートに関する記述がないことから、まちづくり政策の中でもシティプロモートを位置付け、後期も引き続き推進してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広聴については、受け身ではなく直接出向いて現場の市民意見を聞くことが有意義であると考えられることから、今後このような取組についても検討してもらいたい。 	
	2	広報の充実					
	3	情報公開の推進とプライバシーの保護					
	3 男女共同参画による市政運営の推進						
1	男女平等意識の醸成	◎生活環境部	現計画を継続	現計画を継続	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もLGBTへの対応も含め、男女平等意識の更なる醸成に向けた啓発活動に取り組んでももらいたい。 		
2	男女共同参画の視点に立った政策の形成						